

東京の中心・皇居を周回する道路を管理する国、都、区の3道路管理者（国、都、区）と関係する警視庁、文化庁、宮内庁、環境庁の7機関が一堂に会し、皇居周回道路および国会周辺、行幸道路等延長約13km区間を対象とした「皇居周辺道路景観整備委員会（委員長・中村良夫東京工業大学教授・当時）」が発足したのが昭和の末、7年近くにわたり各管理者間で景観整備にかかる計画設計調整を行ってきた。対象地の道路網は1964年東京オリンピック時の整備から年数が経過し、その改修は全体を一貫した設計思想のもとで、景観設計指針を取り纏めたうえで、事業化に移行し、アブルは財団法人道路環境研究所をサポートする形で全体の基本計画の作成から、具体の設計まで一貫して関与した。

ここでは道路内の構成要素だけでなく、周囲の景観資産をいかに取り込むか、または見せるか、に主眼を置き、新たに造られる施設はなるべく控えめな存在となるよう配慮し、既存の景観資産の活用、沿道の緑地や公共施設と道路との一体設計、視点場としての緑地整備など、総合的な景観設計を目指してきた。

この景観設計指針に基づき、主要区間については1993年の皇太子ご成婚祝賀パレードまでに概成し、周回道路歩道部（延長約5km区間）には各都道府県等から贈られた50点（@100m）の「花の輪」の石製象嵌が埋め込まれ、今ではジョギング利用者の里程標の役割も果たしている（別途事業一設計調整に参画）。

具体的基本・実施設計は、国道区間に関しては、財)道路環境研究所を介して(委員会・幹事会・調整会議運営)、アブルが担当し、都道区間は基本設計のほか全線の照明設計、緑地の一部(まちかど庭園整備事業)、千代田区道区間は照明設計協力と竹橋公衆トイレ(建築)の設計を担当した。対象道路の都関連では東京駅前の「行幸通り」については当時の委員会幹事長・篠原修東京大学名誉教授の指導のもとに、アブル・OB・小野寺康設計で2018年に完成している。



対象区間位置図

経緯 皇居周辺道路景観整備計画（建設省・東京都・千代田区）'88～'89・皇居周辺道路景観整備計画委員会（委員長 中村良夫東京工業大学教授、幹事長 篠原修東京大学教授（亡きとき当時））対象地：東京都千代田区。他 都区間区（延長約3.4km）都道1号（日比谷通～大手町～日比谷、晴海通り）日比谷～桜田門
延長約1.85km、都道20号（桜田門～半蔵門）約1.30km、都道246号（三宅坂～長町）他、都区間区（延長約7.71km）都道31号（祝田橋～平川門）約1.76km、
都道401号（平川門～九段下、九段上～半蔵門）約2.08km、都道404号（皇居前東京停車場線）約0.94km、約0.25km、国中1-6-7-8-9号（国会周辺道路）他、
区道約1.95km、区道229号（竹橋～千鳥が淵）他、小事業主：建設省（当時、現国土交通省、東京都、千代田区、計・総延長13.06km）設計協力：昭明デザイン
・ノグマディン（南関東支店）、担当：中野、松村、小野寺、大嶋、重山、清水、関本、吉田、金、藤本、堀田 撮影：*安川秋、*岩崎徹気提供



皇居周辺道路景観整備計画を掲載した機関紙特別号



国会前交差点の「鳳凰型」12m街路灯**



区道・代官通りに設置された「鳳凰」8m 街路灯*



内堀通り（国道区間）歩道部 **



日比谷通り（国道）*



国道車道照明灯具デザイン ***



日比谷通りの歩道部 **



整備後の晴海通りの風景 *



日比谷通り **

諸元（設計対象）所在地：東京都千代田区、他 国道区間・延長約 3.4km- 国道 1 号（日比谷通り～大手町～日比谷、晴海通り～日比谷～桜田門）延長約 1.85km、国道 20 号（桜田門～半蔵門）約 1.30km、国道 246 号（三宅坂～隼町）約 0.25km、都道約 4.96km- 都道 301 号（祝田橋～平川門）約 1.76km、都道 401 号（平川門～九段下、九段上～半蔵門）約 2.08km、区道 約 1.14km- 区道 229 号（竹橋～千鳥が淵）他、事業主体：建設省（当時・現国土交通省、東京都、千代田区 設計協力：照明デザイン・ナグモデザイン（南雲勝志） 工事期間：'89 年～'98 年 写真撮影：* 安川千秋、** 小椋利文、*** 岩崎電気園提供



平川濠緑地 **



平川濠緑地 **



大手濠緑地 *



桔梗濠緑地



大手濠緑地 **

皇居周辺緑地 皇居周辺緑地整備設計（東京都）'89.10～'90.3／皇居周辺緑地整備（東京都）'90.6～'8／緑地整備設計（大手濠緑地：東京都）'91.6～'9／緑地整備設計（平川濠緑地：東京都）'92.5～'7／竹橋公衆便所設計（千代田区）'93.5～'7
諸元 緑地／事業主体：東京都 桔梗濠緑地—約900㎡，大手濠緑地—約2,000㎡，平川濠緑地約2,400㎡ 施工：富士植木、日産緑化 他 工事期間：'90～'96／撮影：* 安川千秋、** 小椋利文
担当：中野、松村、小野寺、大嶋、重山、清水、金光、藤本